

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月 1日 更新

事務事業名		放課後学童クラブ室整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 万喜
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	栗木 清智
	基本事業	59	地域における子育て支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2356
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 11345	法令根拠	児童福祉法合志市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	71人以上を超える大規模学童クラブの分割等の施設確保及び老朽化や手狭等、保育環境の改善のため学童クラブ室の整備を行う。今後も、大規模分割や施設の老朽化、手狭等、それぞれの学童クラブの状況を見ながら検討する必要がある。国は平成22年度(平成23年度まで延長)から71人以上のクラブへの補助を廃止することとしているため、学童クラブの適正な運営や施設の保育環境改善のため、大規模化にある施設の分割を図り、児童の安全安心を確保する。平成22年度は、南ヶ丘小学学童クラブの大規模分割のための新築工事を実施。
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①放課後児童対策事業計画打ち合わせ、検討 ②工事施行伺い(負担行為) ③業者選定 ④工事請負契約伺い ⑤工事請負契約締結 ⑥工事進行管理 ⑦県補助金交付申請 ⑧県補助金概算払請求 ⑨竣工検査 ⑩実績報告書・請求書受付、審査 ⑨支出命令 ⑩県補助金実績報告 ⑪県補助金清算
【主な予算費目】	工事請負料(設計監理費、施設改修費を含む) 財源: 県補助金 創設(21,124千円基準の2/3)
【意見や要望】	西合志南小学校からは、大規模化による分割の要望が出ているが、学校敷地内に余裕が無いなどの課題がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
南ヶ丘小学校第二学童クラブ室の新築工事を実施した。 (国の経済対策交付金の活用により、平成22年度に予算を繰越し、西合志中央小学校学童クラブ室の増築と南ヶ丘小学校学童クラブ室の空調取替え工事を実施。)	熊本県の学童クラブ施設整備補助金を活用し、大規模分割のため西合志南小学校学童クラブ室の新築工事を計画している。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 小学校の敷地内にあるクラブ室	【拡充事業】学校敷地内に余裕がないため、限られたスペースでの建設になるため建築費が増。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
学童クラブ室	→ ア 施設の整備が必要な学童クラブ室
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
学童クラブ室を整備することによって、安心安全に保育できるようにする。	→ ア 整備した学童クラブ室
	→ イ 整備した学童クラブ室に入所した児童数
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 大規模化による分割及び待機児童解消に伴う施設整備であるため、整備した施設に入所した児童数として設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	箇所	0	5	7	7	8	8	0
	イ								
② 対象指標	ア	箇所	0	4	3	3	1	1	0
	イ								
③ 成果指標	ア	箇所	0	2	3	2	1	1	0
	イ	人	0	0	0	0	0	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円			8,333	13,930	14,082	
		地方債	千円			16,400		14,400	
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円			889	20,552	811		
	(A) 事業費計	千円	0	0	25,622	34,482	29,293	0	0
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	0	0	1,194	1,977	0	0	0
正職員従事人数	人	0	0	3	2	0	0	0	
延べ業務時間	時間	0	0	300	480	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	26,816	36,459	29,293	0	0	

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	放課後学童クラブ室整備事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)
 *原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 前年度で計画した施設整備は全て実施できており達成できた。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 来年度に計画した施設整備は実施可能と考えられるため、目標は達成する見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる。余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 施設整備事業であり、児童の入所傾向を勘案しての計画であるため、向上の余地がない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 施設そのものの整備事業であるため、他に手段がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 施設整備事業であり、児童の入所傾向を勘案しての計画であるため、削減余地がない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員で事務を行っているため、削減余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 国が推進している事業であり、国の学童クラブガイドラインに沿った事業計画であるため、公平・校正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国が推進している事業であるため、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

合志南小学校学童クラブ室の新築工事については、立地の条件から後期の遅れも心配されたが、工期及び工事内容を再検討し変更契約を行ったが、何とか期限内に竣工できた。また、西合志東小学校学童クラブ室新築工事については、天候にも恵まれ順調に工事が進み余裕を持って工事が竣工できた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						